

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ひっぽファミリーKid's	公表日				2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		レイアウトの工夫を行い、適切な空間で支援が行えるようにスペースの確保をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用児童の状態や人数に応じて職員の配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ホワイトボードの撤去を行い、死角を無くし全体を見渡せるように配慮を行ったり、段差を無くして歩行の負担を軽減しました。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の清掃を徹底して清潔な環境を提供しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		テントを配置して落ち着いた環境で過ごせるように工夫しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		午前中に教室内でミーティングを行い前日の振り返り、当日の目標を設定し業務改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		面談や評価表を通して保護者様のご意向を把握し、業務改善、支援に繋げております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		全体会議を取り入れる事で意見交換の場を設け業務改善へと繋げております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者による外部評価は、今の所おこなっていません。今後、検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修に積極的に参加を行い、事業所内で共有を行っております。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月イベントや外出プログラムや5領域に沿ったプログラムを考案しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		モニタリングや面談を行う事で本児や保護者のニーズ、課題を引き出し5領域に添った支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		始業前のミーティングにて携わる職員の意見も考慮しながら検討、作成を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画書作成後、職員全員が目を通し、支援内容の確認を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			標準化されたツールは利用していませんが、日々の行動記録は記録し、アセスメントに沿ってサポートしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		目標やプログラムを個々の個性に合わせて臨機応変に対応して設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月の活動プログラムは、ご利用前月までに全員で行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		平日・土・祝・長期休みの全体活動プログラムと個別プログラムを工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎業務が、遅れた場合等は翌朝にミーティング等で振り返り注意点を共有しています。	職員全員共有のLineで急ぎの件等の連絡は取り合っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動報告書を記録する事で検証改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		4か月に1度モニタリング、面談を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		個々の個性に合わせて基本活動を組合せ支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		幾つかの選択肢を提示して本児の意思を尊重できるような支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達管理責任者や日頃の支援に携わる職員を含めて参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			体制は整えていますが、相手のご都合もあるので、なかなか難しい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		行事予定表の確認やお迎え時に学校の先生との情報交換を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			系列事業所の児童発達支援と共有し、相互理解しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			該当児童無し
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	7		何かあれば、対応できる体制は設けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	7		体制は整えていますが、相手のご都合もあるので、なかなか難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		協議会へは積極的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳にて日頃の活動内容やご様子をお伝えしています。	特に送迎時にご報告しております。又、保護者様とも全員、Lineで連絡を取り合っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		告知や情報の提供は随時行っております。	情報提供は行っていますが、今後は家族等が参加できる研修等を行えるように努力致します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に契約書を用いてご説明いたしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		4か月に1度の面談にて保護者の意思を確認し、日頃の支援の中で児童の意思を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援計画書を保護者に確認してもらい、説明を行い同意を得てサインを頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談や来所が難しい場合は電話を活用してご家族様の相談をお受けしております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		弊社ご利用のお母さん達が活動している父母の会等をご紹介します。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談・苦情報告書を記入しており、共有を行う事で再発防止に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、ひっぼファミリーKid's'dよりを発行しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付書庫で鍵は管理者が管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々の個性に合わせた支援内容で意思表示を行っていただいております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		ご要望があれば対応しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		月に1回は訓練をしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		月に1回は訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		アセスメントを行い、服薬やてんかん発作時の対応等を確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の方を通じてお聞きしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		避難訓練を付きに1度行い、防災グッズ、ヘルメット等を利用児童人数分備えております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		保護者様のご連絡先だけではなく、緊急連絡先のご登録をいただいております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事案が発生した際に、ヒヤリハット報告書を記入し、共有を行い再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止・身体拘束委員会を立ち上げています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現在は、身体拘束が必要なお子様はいません。	今後必要となれば保護者様へご了承いただくと共に、個別支援計画書に必要である理由を記入していきたいと思っております。	